鹿児島県立鹿児島中央高等学校



SSHニュース 第31号



SSH「探究Ⅲ」最終報告会実施!

7月4日にSSH「探究Ⅲ」最終報告会が実 施されました。これまでは新型コロナウイルス 感染症の影響のため校内で実施していました が、SSHI期4年目を迎えた3年生の研究成 果発表を宝山ホールで行うことができました。





▲この日の発表に向けて、3年生全員で準備しました。

国立研究開発法人科学技術振興機構,運営指 導委員,教育関係者,同窓会,3学年生徒保護 者,中学生など多くの方に観覧に来ていただき ました。

ステージ部門でもポスター部門でも,各研究班 が「後輩に継続研究をしてほしい!」という思い を持ちつつ発表をしていました。

1年生は後期から探究活動の班編成,テーマ設 定が行われます。今回の最終報告会を受けて継続 研究を行うグループが出てくるのでしょうか? 推移を見守りたいと思います。

ステージ発表!

59 期生には研究班が87 班あり、そのうち5班 がステージ発表をしました。演題は以下の通りで す。

59A04 班『錯視で危険を回避しよう』

59009 班『安定するパラシュートの形と素材』

59B06 班『廃校と廃線を利用した地方再生』

59017 班『バイオエタノールの原料の検討』

59D01 班『微生物燃料電池で高い電力を生み出す』





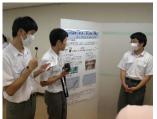
▲下級生からも積極的に質問が出されました。

発表する側は緊張の面持ちでしたが, 下級生に わかりやすく説明するために言葉を選びゆっく り話したり, 質疑に対して丁寧に説明したりする など, どの生徒もプレゼンテーション力が向上し ている姿が見られました。

ポスター発表!

ステージ発表以外の82研究班はB1F,2F,3Fの 各フロアでポスター発表を行いました。下級生が ワクワクした様子でポスター前に集まると, 前半, 後半に分かれて交互に発表を行いました。





▲プレゼンテーションカの成長が大いに感じられました。

「ここがすごい!! 鹿児島・桜島の温泉事情」

6月20日には、東京大学大学院の穴澤活郎 准教授と鹿児島大学の有馬一成准教授が来校 され、上記の演題で講演されました。59B06 班 の研究を踏まえ, 鹿児島・桜島のみならず日本 全国を対象にした温泉の種類,温泉の化学等専 門的な内容についてクイズを交えながら軽妙 な語り口で講演を進め、生徒たちは最後まで関 心を持って真剣な面持ちで聴いていました。



発行:SSH推進部広報係 2023年7月発行